

7 サイレージの取り出し

(1) 取り出しの注意点

サイレージは空気（酸素）に触れると熱を持ち変敗していきます。このような変敗を「二次発酵（好気的変敗）」といい、嗜好性が下がり、栄養価も低下します。

毎日全面から取り出し、できるだけ空気の進入を防ぐような丁寧な取り出し作業が重要となります。

バケットで下から上にあおって取り出すと、空気が奥まで入ってしまうので、バケットで取り出す場合は上から削るように取り出すことで空気の進入を防ぎます。

取り出した後、崩れたまま残っているサイレージも二次発酵が進みやすいのであまり多く崩しすぎないようにしましょう。



写真27 きれいな取り出し面



下からあおって取り出してはダメ



上から削り取り出しましょう

図4 サイレージの取り出し方（バケットでの場合）

(2) 変敗部分の除去

サイレージの変敗した部分を給与すると乳牛に悪影響があります(下図参照)。必ず取り除いてから取り出しましょう。

ア 変敗の発生しやすい場所

サイロの肩部や表層はサイレージが変敗しやすい（カビが発生しやすい）場所です。サイレージの状況を確認してからサイレージを取り出すことが重要です。



写真28 カビの発生しやすい場所

イ 変敗サイレージによるトラブル

変敗した部分を乳牛に与えると下のようなトラブルが発生します。

〈変敗サイレージによるトラブル〉

- ・ 採食量の低下
- ・ 乳量の低下
- ・ 肝機能、免疫力低下
- ・ 繁殖障害、流産・不受胎
- ・ 軟便の発生
- ・ 乳房炎の増加
- ・ 採食量低下による周産期病の誘発

